

高級ホテル国際予約システム ニューオータニ加盟

米マリオートと提携解消

ホテルニューオータニ（東京・千代田）は一日、世界中に営業拠点を持つ高級ホテルの国際予約システム「プリファード・ホテルズ&リゾーツ」に加盟する。インドやロシアなど新興国から訪れる富裕層の取り込み強化を狙い、国際的なネットワークを活用して新規顧客の掘り起こしを進める。これを機に、十六年間提携関係にあった米マリオート・インターナショナルとは三月末で関係を解消した。

ホテルニューオータニは、グループ（本部シカゴ、ジョン・ユベロス会長兼最高経営責任者）は北米のほか、欧州や中近東、アジアなどに二十九の営業所を構え、十万人以上の会員組織を持つ。ホテルズ&リゾーツは四ブランドの最高ランクに位置、東京ではパレスホテル（東京・千代田）が加盟している。

ニューオータニによると、旅行代理店や航空会社などプリファードの提携先を通じた販売網は今後も拡大すると期待。二

〇〇九年三月期に海外利用客の割合を現在の四割強から五割に増やし、三十億円強だった海外宿泊者の売上高（東京のみ）を同期に四十億円弱に拡大する考え。昨年四―九月で五二・一％と低迷する客室稼働率を引き上げ、富裕層を呼び込むことで客室単価の上昇も狙う。

ニューオータニは〇五年十一月からの二年間で、約百億円かけて施設を改修。〇七年十月、本館十一―十二階部分に客室単価五万円以上の富裕層向けフロア「エグゼクティブハウス 禅」を開業した。外国人客が好む和風のテイストを強く打ち出すことで、海外客の受け入れ態勢を整えた。